

連続交歓講座《人と自然を結ぶ文化の大地》＝人と庭の未来を開く＝

第 1 回「木を植えるのは何のため」講師：高野 義武（NPO 法人国際ふるさとの森づくり協会 理事長）

一般社団法人 日本庭園協会は、来年創立 100 周年を迎えます。創立メンバーの一人上原敬二は「学会でも研究機関でもなく、況や政治団体でもなく、利害を超越し、庭園趣味を楽しむ懇親団体」と本協会のビジョンを述べ、庭園・公園・風景など専門家だけでなく幅広い人材を揃えた団体でした。100 年後の今、創立当時とは比べようもなくすべてが大きく変化してきました、しかし、自然への畏敬の念や四季の変化を暮らしに取り入れた日本の文化は不変ではないでしょうか。この日本の文化を構成している一つが「庭」ですが、100 年を節に新たな価値観を見出すため《人と自然を結ぶ文化の大地》とテーマを掲げて連続講座を開催することになりました。第 1 回は、道路の建設に長年携わってきた土木技術者の高野義武氏を講師に開講いたします。高野氏は「沿道住民が納得できる環境保全対策は無いものか」と悩んでいた時、宮脇 昭氏（横浜国立大学名誉教授）が唱えた「植樹論」を聞き、「ふるさとの森づくり」を提案実施してきました。高野氏の「森づくり」と私たちの「庭づくり」との共通言語を「木を植える」と捉え、時代の動向に直結した植樹運動を語っていただきます。さらに「庭づくり」に対する既成的価値観を払拭し、新たな価値観を、特に地球を取り巻く環境問題にまで踏み込んでいただきます。

日本庭園協会 東京都支部 連続交歓講座実行委員会

高野義武講師のプロフィール 1967 年：信州大学工学部土木工学科卒業後建設省（現国土交通省）入省／JICA 専門家としてタイ王国に赴任、現地技術者に道路建設技術を指導／1981 年、日本で初のふるさとの森づくりを道路事業に導入／1992 年、長野冬季オリンピック施設や関連事業にふるさとの森づくりを導入／2008 年、NPO 法人国際ふるさとの森づくり協会設立、理事長に就任、現在に至る。これまでに湘南国際村、東日本大震災被災地等国内外でふるさとの森づくり方法の植樹活動を行い、専門家「植生工学士」（現在 133 人）を養成してきた。

記

日 時：平成 30 年 2 月 11 日（日）13 時 30 分～16 時 30 分
会 場：日比谷コンベンションホール（大ホール）
 東京都千代田区日比谷公園 1 番 4 号（旧・都立日比谷図書館）電話 03-3502-3340
定 員：200 名
締 切：定員になり次第、締め切ります。
会 費：会員：¥3,000 円 非会員：¥4,000 円 学生 ¥1,000 円



高野義武講師

*会費は、受付確認後、5 日以内に、下記の口座に、振り込みをお願いいたします。

ゆうちょ銀行 10330 86246011 日本庭園協会 東京都支部

他金融機関 店名〇三八(ゼロサンハチ)支店 店番 038 普通 8624601 日本庭園協会 東京都支部

申し込み：①ウェブ：<http://ntk-tokyo.com/>

②メール：gsjtokyou@gmail.com

③fax：03-6676-2381（誠和造園 由比）

問い合わせ：池田 携帯電話：090-3400-9300、藤倉 携帯電話：090-2141-6172

*メールまたは、fax の場合、以下の①～⑤を、ご記入し、お申込みください。

連続交歓講演会《人と自然を結ぶ文化の大地》 [第 1 回 申込用紙]

①	参加者名 *複数名の場合、全員分記入してください。
②	会社名（屋号、又は、学校名）
③	住所（自宅、又は、勤務先）
④	連絡先 ・電話、fax ・携帯電話 ・メールアドレス
⑤	所属支部（団体名等）